

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月13日

事業ID:2023003655

事業名:青森県青森市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営(2年目)

団体名:特定非営利活動法人
プラットフォームあおもり

代表者名:理事長 米田大吉 印

TEL:017-763-5522

事業完了日:2024年3月31日

■契約時

事業費総額	:	8,000,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	8,000,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	11,435,300 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	3,435,300 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	8,000,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

子どもたちが安心して過ごせる環境で、生き抜く力を育むことを目的として、以下の事業を実施する。

- 青森県青森市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営
(1)期間:2023年4月~2024年3月(火・木・土の週3日、火・木は13:00~19:30、土は13:00~17:00開所)
(2)場所:青森県青森市古川1-20-11メゾンビル2階 面積:総面積約102㎡、多目的室と学習・交流スペース約45㎡、相談室約11㎡、飲食スペース約24㎡、その他22㎡

(2)事業完了時の事業内容(実績)

子どもたちが安心して過ごせる環境で、生き抜く力を育むことを目的として、以下の事業を実施しました。

- 青森県青森市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営
(1)期間:2023年4月~2024年3月(火・木・土の週3日、火・木は13:00~19:30、土は13:00~17:00開所)
(2)場所:青森県青森市古川1-20-11メゾンビル2階 面積:総面積約102㎡、多目的室と学習・交流スペース約45㎡、相談室約11㎡、飲食スペース約24㎡、その他22㎡

(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に20名

(4)内容:

①子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完します。

②農業体験やプログラミング、英会話などの学びを通じて、自分の未来の可能性を認識させます。

③当法人が受託する事業に参加する中学生やボランティアの大学生、地域のお年寄りとの交流を通じて、多様な経験を提供します。

(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に30名の登録

(4)内容:

①子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完しました。

②職場体験やプログラミング、職業人講話などを通じて、自分の未来の可能性を認識する機会を作りました。

③当法人が受託する事業に参加する中学生やボランティアの大学生、地域のお年寄りとの交流を通じて、多様な経験を提供しました。

(3)成功したこととその要因

青森市との連携や利用者からの口コミ情報により、利用希望者やボランティア希望者が通年であったこと。

(4)失敗したこととその要因

計画して実施できなかった内容はあります。

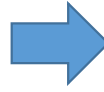
(5)事業内容詳細

拠点管理システムに報告済です。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

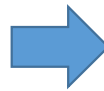
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

■学習・生活支援モデルの運営事業を実施

- ・運営事業は、2023年4月1日から開始します。
- ・2024年3月31日までに利用登録の児童・生徒数を20名以上にします。
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供を行います。
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との良好な関係を構築します。
- ・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に6回以上実施します。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	386	文字数チェック	OK
<p>■学習・生活支援モデルの運営事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none">・運営事業は、2023年4月1日から開始します。・2024年3月31日までに利用登録の児童・生徒数を20名以上にします。 ⇒登録児童数が34名になっています。・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供を行います。 ⇒保護者からの評価も高く、新年度の継続を希望しない子どもは2人だけでした。・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との良好な関係を構築します。 ⇒継続的に参加する高校生・大学生などのボランティアなどが10名以上います。・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に6回以上実施します。 ⇒水産加工事業者の職場見学、青森ねぶた祭の準備作業体験、当法人副理事長のゲーム開発者(Wii)とのトークセッション、味噌づくり体験など、8回の事業を実施しました。			

3.事業実施によって得られた成果

利用者も増え、問い合わせも多くなっており、メディアの露出も多くなっています。
こども家庭庁の発足などもあり、こどもの居場所づくりに関する注目度が高まっていると感じているので、引き続き、事業理念の地域への浸透を図っていきたいと考えています。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

課題:事業継続に必要な資金の確保と、少ない資金で運営するための新しい方策の考案。

対応策:こども家庭庁の事業や、青森市の取り組みを組み合わせ、利用者の負担が少ない運営を目指し、地域全体で子どもを育てていく取り組みの必要性を啓発していきます。

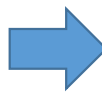
5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL